

電気通信大学 平成20年度シラバス

|         |  |          |           |
|---------|--|----------|-----------|
| 授業科目名   | 生涯スポーツ演習D  |          |           |
| 英文授業科目名 | Lifelong Learning in Sports D  |          |           |
| 開講年度    | 2008年度   | 開講年次     | 2年次       |
| 開講学期    | 後学期  | 開講コース・課程 | 昼間・夜間主コース |
| 授業の方法   | 演習   | 単位数      | 1         |
| 科目区分    | 総合文化科目-健康・スポーツ科学科目-  |          |           |
| 開講学科・専攻 | 情報通信工学科<br>情報工学科<br>電子工学科<br>量子・物質工学科<br>知能機械工学科<br>システム工学科<br>人間コミュニケーション学科 |          |           |
| 担当教官名   | 狩野 豊   |          |           |
| 居室      | 東6-907   |          |           |

|                   |            |
|-------------------|------------|
| 公開E-Mail          | 授業関連Webページ |
| kano@pc.uec.ac.jp | なし         |

|  |
|--|
| <p><b>【主題および達成目標】</b></p> <p>(a)：主題<br/>                     本演習は「健康・体力づくり実習」において学んだことをさらに発展させるプログラムである。スポーツは、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成や個々人の心身の健全な発達に不可欠なものであり、生涯にわたってスポーツに親しむことは極めて大きな意味をもつ。特に学生時代は社会人へと移行する時期でもあり、スポーツライフの定着には絶好の機会である。<br/>                     本学の教育方針の中でも、特に幅広く深い教養と人間性の涵養をねらいとして、スポーツに親しむ能力を身につけると同時に、こうした経験を通して理解したことや自身の意図などを他者に伝える論理的コミュニケーション能力の習得を目的とする。<br/>                     これらのためには、スポーツに親しむための知識や技能を獲得することが極めて重要である。人間の動きに対する理解を深めるためには他者との身体的ならびに言語的なやり取りが求められるが、こうした経験を通じてスポーツに対する関心を喚起し、生涯スポーツを自主的に構築することをねらいとする。<br/>                     生涯スポーツの構築には、シーズンスポーツとの関わりは欠くことができないものであり、本学ではその一つとしてスキーを取り入れている。「スキー」は大自然の中で行う爽快感とともに、年齢や性・体力の違いを問わず誰でも楽しく実践できるという運動特性をもっている。また、技術的要素の強いスポーツであり、生涯スポーツとして学習・経験するのに適した種目である。本演習は、各自の技能に応じて、安全にかつ楽しくスキーを行うための知識・技能を学習することを目的としている。</p> <p>(b)：達成目標<br/>                     スキーにおける技能・身体操作技能の習得や理論、ルール、マナーの理解等を深めることによって、生涯スポーツの基礎を培うこと、また、スキーの実践を通じて、他者との円滑なコミュニケーションを図ることができるようになることを目指す。</p> |
|--|

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【前もって履修しておくべき科目】

健康・体力づくり実習

### 【前もって履修しておくことが望ましい科目】

健康論

### 【教科書等】

なし

### 【授業内容とその進め方】

合宿形式にて行なう冬季集中コースである。本演習は本学教員（吉川，長澤，深澤，岡田，狩野）に加えて，4名の非常勤講師（八島，渡辺，加納，石川）の協力を得て，2月下旬から3月上旬の4日間に志賀高原にて実施される。

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

#### (a)：評価方法

本授業は演習であり，授業への参加が重視される。評価は，授業への参加状況（50%），スポーツ・運動への取り組み（20%），生涯スポーツのための知識の獲得（レポートを含む）（20%），他者とのコミュニケーションへの取り組み（10%）とし，総合的に評価する。

#### (b)：評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- ・スキーの運動について理解したことを身体的・言語的に表現することができる。
- ・安全やマナーなどについて留意・理解し，実践することができる。
- ・他者とうまく関わってスキーを楽しく安全に実践することができる。

### 【オフィスアワー：授業相談】

健康・スポーツ科学部会事務室（東1-402）に連絡のこと。

### 【学生へのメッセージ】

演習A,B,C,Dのいずれか1単位が必修である。また，各演習の単位はそれぞれ1単位で，最高4単位まで認められる（必修の1単位以外は共通単位となる）。健康や体調に留意して，積極的な参加を期待している。

## 電気通信大学 平成20年度シラバス

### 【その他】

事前にオリエンテーションが実施されるので、掲示に注意し、日程等を確認すること。本演習は、全学科・全コースを対象として定員70名で実施されるため、オリエンテーション時に抽選を行うことがある。